

神奈川県知的障害者施設保護者会連合会ニュース

発行人 神奈川県知的障害者施設保護者会連合会会長 岩本邦雄 編集人 杉山昌明
発行所 〒235-0021 横浜市磯子区岡村3-15-14 岩本邦雄方
神奈川県知的障害者施設保護者会連合会事務局 TEL&FAX 045-751-1010



神奈川県知的障害者施設保護者会 柿生学園施設見学会開催される

十月十八日(木)十三時三十分から柿生学園の施設見学会が開催されました。

山本加州美交流部会長の司会ではじめに柿生学園平田施設長から学園の概略の説明をしていただいた後に、4グループに分かれて、ケアホームを含めて施設見学を行い、その後再び会議室で日中支援について説明をいただいた。

最後の質疑応答では予定時間を超えて熱心な討議が行われ充実した見学会となりました。

柿生学園概況

平田施設長から、柿生学園について概略左記のような説明がありました。

当学園は川崎市北部、東京寄りの、のどかな地域所在し、五月台駅から徒歩6〜7分という便利なところにある。

昭和61年4月開所地域との交流も深い。

施設定員は入所60名、短期入所



4名である。平成16年9月に指定管理施設と営民営化さ

事業方針

● 選ばれる福祉サービスの提供
● 利用者の意思や人格を尊重出来る支援
● 生きる喜びを感じられる豊かな生活の実現を目指した生活支援
● 地域や関係機関との連携による、地域に開かれた施設運営の実践

利用状況

● 入所者は、男女それぞれ30名
● 平均年齢48歳
● 障害程度区分は、区分4以上が98%、5以上が76%で重度の利用者が多い
● 在園期間は、20年以上が31名で平均は約17年。

職員の専門性向上

● 職員は自分の目標を設定して支援にあたり、研修発表会で成果発表をしている。



権利擁護への取り組み

● 権利擁護委員会を定期開催して支援のあり方について継続的に議論している。

日中支援活動

● 平成20年から、全員を対象にした日中活動を始めた。
● 利用者が自分自身を必要とされていることを自覚し、充実した生活を送れるようにすることが目的である。

施設見学

日中活動の内容

● 作業所での活動は、アルミ缶のリサイクル作業とシュレッダー作業、名刺の点字入れ作業が主である。

アルミ缶の底に穴を開けて水洗いが短時間で済むように工夫し、洗ったアルミ缶は工具を使い、手や足でつぶしていた。
それらの作業のための工具は、いずれも職員の手作りである。
紙を細くシュレッダーして電気器具などの発送の際の緩衝材として、また、少し幅広くにカットして、



ペットショップなどで使用する
ペットの寝床として卸している。
パソコンケーブルの部品作成
では、かなり工賃の高い作業も
行っていた。

さらに、名刺を点字が打って
ある金属板に挟んでローラーを



通すという方法で、点字名刺の
作成も行っていった。

なお、いずれの活動も集中力
や意欲を高め維持するような休
憩時間や作業時間を設定してい
る。

**●施設の特徴
共有スペース**

一ユニット十五人の共有スペー
スであるリビングや食堂は他施
設のものより広ように感じた。

●ケアホームの利用料金

ケアホームは一棟6人で、男
女それぞれ二棟あり、二十四名
が生活している。

ケアホームの家賃は、川崎市
(二万四千元)と国(一万円)と
で全額全額補助している。
また、管理運営費・食費・光



熱水費などの生活費は一ヶ月、
約四万三千四百円であり、収入
が障害基礎年金2級のみの利用
者も十分生活できる。これは他
都市にない特筆すべき点といえ
る。

●日中活動に関して

施設見学の後、会議室で、
担当の丸山主任から次のような
説明がありました。

●継続・習慣化

日中活動を継続化し習慣化す
ることで、利用者の居場所や役
割、意欲を高め、充実した生活
を送ることができるようにして
いる。

●褒める文化

普段の生活ではなかなか褒め
るといふことはできないが、作
業(日中活動)では、褒めるこ
とによって職員と利用者的人际
関係を深めることができる。

●日中支援

午前は午前九時三十分から十
一時三十分、午後は十三時三十
分から十五時まで。

水曜日の午後はカラオケ、映
画鑑賞、創作活動、音楽活動な
どを行っている。

●出張コンビニ

作業することで賃金を貰い、
好きなものが買えることを理解
して貰うとともに、賃金を使え
る場所として出張コンビニを提
供している。

以上のようなことは日中活動
を継続することによって、今ま
できなかったことをできるよう
にすることは、利用者の健康の
維持・増進にも繋がってくる。

Q..職員の採用について
A..法人が採用している。
20%は契約職員で期限は1年
間である。登用試験をして正職
員に採用している。

離職率は低くは無いが、給与
の低さが第一番目の理由では無
く、目的意識がなくなると離職
している。

目標を持って支援するように、
そして、それを評価するように
している。

質 疑 応 答

Q..長期研修に関して
A..資格取得の研修等は全体的
に考えて支援している。

Q..余暇活動の支援員に関して
A..地域のボランティアの方大
勢の協力がある。

また、ボラのフォローアップ
研修を社協の協力を得て行って

いる。

Q..ボランティアの登録数
A..現在二十から三十人で、登
録票を用いて登録してもらって
いる。

岩本会長挨拶

神奈川県施設保護者会員の皆さ
ん本日はお疲れ様です。

柿生学園の継続は力なりとい
うことでさまざまな工夫をし良
く支援されていると感じました。

施設のあり方について問題と
なっている昨今、他施設の良
いところを幅広い目で見えて、自施
設に反映して欲しいと考えてい
ます。

全施設は入所施設にしがみ
ているわけではなく、親亡き後
も利用者が安心安全な暮らしが
確認できるのであれば地域移行
も選択肢一つとして考えている。

本日の施設見学にあたり、い
ろいろとご配慮していただきま
したことを、施設長さんはじめ
はじめ職員の皆様いろいろな配
慮していただきましたことをお
礼を申し上げます。

ありがとうございました。

文責 杉山 昌明 以上